

平成21年度会務・会計報告



平成21年度幹事長報告

平成21年度日本弁理士クラブ
幹事長 清水 善 廣

<はじめに>

平成21年2月1日より日弁幹事長を拝命し、日弁各派から参加いただきました5名の副幹事長、10名の幹事の皆様とともに1年間活動させていただきました。1年間の活動を通し、いろんな場面での意見交換や共同作業の中で、日弁が5会派から構成されていることの意義を実感できた1年でした。それぞれ特徴のある5会派がとてもバランスよく一つにまとまっていると思います。また、2名の副幹事長を含め5名の女性幹事に加わっていただき、日弁における女性会員のプレゼンスを実感させていただき、とてもいいタイミングで幹事長を務めさせていただけたと感謝しております。

1年間、大過なく無事、幹事会活動を行えたのも、副幹事長、幹事、会計監事、各委員長、委員、相談役、常任相談役、そして各派幹事長をはじめ多くの会員の先生方のお陰とここに深く感謝申し上げます。

<筒井執行部のサポート>

昨年度は、日弁として最初の2年制会長を務める筒井大和会長を日本弁理士会に送り出しており、日弁の総力を結集して筒井執行部をバックアップすることを第1の柱として活動させていただきました。

3月には、日本弁理士会の次年度人事検討委員会において、各派幹事長、人事担当の方々と協力しながら、日本弁理士会の各委員会、各外部機関に多くの有為の人材を推薦して送り出すことができました。委員となられた日弁会員の先生方には筒井会長をサポートするためご活躍いただいております。

また、平成22年度日本弁理士会役員選挙におきま

しても、筒井会長を支えるために立候補された先生方、全員が当選され、ご活躍いただいております。

また、弁理士制度110周年記念事業をはじめ、日本弁理士会の各種イベントなどにも、多くの日弁会員の皆様方の参加により成功を収めております。

筒井執行部では、“全員参加により将来に希望の持てる弁理士業を目指そう！”をスローガンに、①弁理士の業務環境を整備し、社会環境の変化に適切できる特許事務所の基盤強化を実現する、②知財制度・知財業界の発展と我が国の産業競争力の向上に寄与し、弁理士の社会貢献を果たす、③プロパテント時代における多様な知財ニーズへ対応するため、弁理士の専門能力の更なる向上と、職域の拡大と充実に務める、④外国業務対応能力の更なる強化により、国際競争力を高めると共に、弁理士制度及び知財制度の国際的発展に貢献する、⑤日本弁理士会の組織・運営の再構築と機能強化を実行し、会員サービスの更なる充実を図ることを基本方針として活動されておりますが、日弁会員のサポートによって、筒井執行部が掲げられた具体的な事業計画の実現を期待しております。

<日弁シンパの増員を含めた日弁会員増員策>

日弁は、P A会、春秋会、南甲弁理士クラブ、無名会、稲門弁理士クラブの5会派からなる連合体組織であり、2000人を大きく上回る会員を擁する最大の弁理士会派組織です。会長を始め多くの役員を毎年のように日本弁理士会に送り、人事面、政策面などからバックアップしてきております。しかしながら、弁理士試験合格者の大幅増加にもかかわらず、最近の会員数の増加が微増に止まり、無会派層の増加にともなって相対的に日弁のポジション・プレゼンスが低下してきております。無会派層を当会会員として勧誘できることに越したことはありませんが、勤務弁理士や企業弁理士の比率も高く、直ぐには望めない現実があります。次善策ではありますが、日

弁の存在をアピールし、先ずは、日弁のシンパの増員をはかる必要があるかと思ひます。そこで、昨年度は、日弁のメールマガジンとして「日弁メルマガ」を発行し、日弁シンパの増員を図りました。内容は、日弁や、日弁を構成する各会派が実施している、研修会・セミナー、口述練習会、就職説明会、弁理士試験合格者祝賀会などの案内、出版案内、或いは、日本弁理士会、日弁政策委員会からの政策マターの情報発信、日弁活動報告など、弁理士受験生や新人弁理士が直ぐに必要とする情報や、会員にも有益な情報がメインとなっております。

会務、会派活動に理解をしめしつつも、どうしても時間を割けない弁理士会会員も多く見受けられますので、このような「日弁メルマガ」などの情報発信やイベントを通して、無会派層の会員との交流の機会を設け、先ずはシンパとなってもらい、会務・会派活動の重要性を理解してもらい、いずれは会員となってもらい、将来の弁理士業界を支える人材として確保していくのも日弁の役割と思ひます。地道な活動かもしれませんが、日弁シンパを増やし、各会派が会員を少しでも増やしていく努力が必要と思ひます。

<会長選挙に思うこと>

昨年一年間の幹事会活動を通し、日本弁理士会の会長、副会長、常議員、執行理事、監事などの役員、また、1700名を超えようとする委員に占める日弁会員を含めた会派所属会員の多さを実感すると同時に、

会務に関わらない無会派会員の数とのアンバランスに危惧を抱かざるを得ません。会長を始めとする執行部はそれをサポートする会派があるからこそ責任をもって事業計画を遂行できるものと思ひます。現在の役員制度、選挙制度ではそれが担保されていないと思ひますので、弁理士制度を守るため、日弁として真剣に役員制度、選挙制度を考えていかなければならないように思ひます。幹事長在任中に手を付けられませんでした、いわゆる三派（弁理士連合クラブ、西日本弁理士クラブ、日本弁理士クラブ）が協力して役員制度、選挙制度を見直す時期にあるように思ひます。

<会長選挙の年>

何れにしても、平成22年度は平成23年度日本弁理士会会長選挙の年となっております。昨年度は政策委員長として我々幹事会を支えご活躍いただきました岡部謙幹事長の下、本年度幹事会の獅子奮迅のご活躍を期待しております。

<最後に>

最後になりましたが、我々平成21年度日弁幹事会への会員の皆様方のご支援、ご協力に対しまして深く御礼申し上げます。

また、新年会で日弁幹事会は実質的に交代となりますが、あと一息、岡部幹事会への応援、宜しくお願ひいたします。



平成21年度 日本弁理士クラブ 政策委員会活動報告

政策委員長 岡部 讓

1. 委員会の構成

平成21年度日弁政策委員会の構成メンバーは以下の通りです。なお、担当副幹事長は神林恵美子先生（PA）でした。

委員長	岡部讓（PA）
副委員長	橋本清（春秋） 狩野彰（PA） 伊丹勝（南甲） 村上晃一（無名） 杉村純子（稲門）
委員	阿部伸一、磯貝克臣、井上正（春秋） 石渡英房（PA） 津田理（南甲） 津久井照保、平川明（無名） 吉田正義（稲門）

2. 諮問事項

政策委員会への諮問事項は以下の通りです。

- （1）日本弁理士クラブとしての中長期ビジョンの検討
- （2）日本弁理士会役員選挙制度の検討
- （3）日本弁理士会執行部からの検討依頼事項への対応
- （4）その他

3. 活動内容

第1回政策委員会は6月9日に実施しました。清水日弁幹事長から本年度の活動方針の諮問事項の説明がありました。会長2年制が定着し、毎回の会長

選挙が必至という情勢の中、組織率の低下に悩む日弁としては、財政基盤の確立を図ると共に、無会派層にアピールして日弁シンパの増員を図る必要があることが強調されました。900人を越える合格者は弁理士会の会員総数の一割を優に越える数字であり、一般に会派活動に興味を持たない若い世代にどのようにして日弁の存在意義をアピールしていくかは、大変難しい問題です。一方、日本弁理士会の活動範囲は拡大しており、会務に精通した役員候補を育成していくには、やはり、各会派やその連合体である日弁のような組織の存在は不可欠といえます。このような状況の中、いかにして日弁を活性化させ、優秀な人材を弁理士会に提供できるか、政策委員会として考えてみたいと思います。

さらに、当日は執行部から日弁担当の水野副会長をお招きし、日弁に対する要望事項をお聞きしました。水野副会長からは、役員制度の検討、執行役員制度の検討、調査室をはじめとする調査機構の検討等の要望が出されました。現在の会務運営は非常にスピードが要求され、困難な政策課題を適切に解決していくためには現状の体制では不十分ということであろうと思います。日弁として良い提言ができるよう、検討したいと思います。

平成21年度は執行部からの検討依頼事項は比較的少なく、緊急を要する検討事項はあまりありませんでしたが、日弁としての対応が必要と判断し、執行部に提言を行ったのは特定商取引法（以下、「特商法」）改正に伴う弁理士会の会則改正問題でした。この法律は、訪問販売やテレビショッピングといった商形式についての規制を強化するものであり、弁理士業が特商法の規制対象職種でないことを明確にするために、弁理士が依頼者に対して報酬を明示することを義務づけるものです。会則違反は懲戒処分の対象ともなるため、非常にセンシティブな問題ですが、適切な改正となるよう日弁の意見を具申しました。

以上



選挙対策委員会 (協議委員会) 報告

委員長 八木 秀人

1. 開催回数

協議委員会（拡大を含む）	4回
選挙対策委員会（拡大を含む）	2回

2. 委員会の構成

委員長	八木 秀人（無名）
副委員長	長濱 範明（春秋）
同	萩原 康司（P A）
同	河野 哲（南甲）
同	富崎 元成（無名）
同	高橋 英樹（稲門）
委員	久門 保子 小川 護晃（春秋）
	林 篤史 穂坂 道子（P A）
	高橋 大典 津田 理（南甲）
	高橋 俊一 須田 元也（無名）
	西村 公芳（稲門）

3. 審議結果

副会長として、下記の会員の推薦を決定する。

08404	松浦喜多男（南甲）
08830	小宮 良雄（春秋）
09731	狩野 彰（P A）
12438	鈴木 一永（無名）

監事候補者として、下記の会員の推薦を決定する。

07128	一色 健輔（P A）
07592	菅原 修（無名）
08504	小泉 雅裕（春秋）

関東選挙区の常議員候補者として、下記の会員の推薦を決定する。

08076	村田 実（P A）
08627	吉田 維夫（春秋）
09526	小島高城郎（無名）

10309	岩壁 冬樹（春秋）
10740	高橋誠一郎（P A）
11452	榎本 英俊（稲門）
11526	豊崎 玲子（春秋）
11811	高橋 大典（南甲）
12021	石井 茂樹（南甲）
12388	大澤 豊（春秋）
12593	野上 晃（P A）
12862	穂坂 道子（P A）
13483	瀧野 文雄（南甲）

4. 選挙の結果

当選人確定 平成21年10月9日

副会長選挙	無投票当選
監事選挙	無投票当選
常議員選挙	無投票当選

5. 当選祝賀会

平成21年12月14日
東海大学校友会館 阿蘇の間

6. 補足説明

平成22年度は現会長（筒井大和会員）の任期2年目となるため、会長選挙がない本年度は、副会長、監事、常議員についても実質的に選挙がないこと（無投票当選）が予想された。

そして、副会長、監事については、日弁内および他クラブを含め全体として選挙を回避する意向があり、上記推薦者の当選が無投票で決まった。

一方、常議員については、関東選挙区において、立候補届出時点で立候補者の数が定員を2名超過した。しかし、日弁内および他クラブを含め全体として選挙を回避する意向が強かった。そこで、日弁、連合からそれぞれ1名の候補者が立候補を辞退し、最終的に上記推薦者の当選が無投票で決まった。

最後に、無投票当選に向けて大変なご努力を頂いた日弁幹事長を始め各位に対し改めてお礼申し上げる次第である。



研修委員会報告

委員長 齋藤 康

平成21年度研修委員会につきまして、以下の通りご報告致します。

1. 開催回数

研修委員会 1回
研修会 9回

2. 委員会の構成

委員長 齋藤 康 (無名)
副委員長 金井 建 (P A)
委員 太田 昌孝 (春秋)
栗原 弘 (春秋)
市原 政喜 (P A)
神蔵初夏子 (南甲)
清澤 亮 (南甲)
竹山 尚治 (無名)
亀崎 伸宏 (無名)
細田 浩一 (稲門)

3. 研修内容

(1) 旅行会における研修会

日程：2009年6月13日(土)
会場：熱海温泉「石亭」
内容：「特許法の全面改正の動向」等
講師：奥山 尚一 先生
(特許庁主催・特許制度研究会委員)
江藤 聡明 先生
(2007年特許委員会委員長)
小西 恵 先生
(2008年特許委員会委員長)

参加者数：35名

(2) 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

特定侵害訴訟代理業務試験対策研修として、以下の研修会を行いました。

① 過去問解析講座

日程：2009年7月2日、7月8日、7月16日、
7月22日、7月30日

会場：弁理士会館3階

講師：弁護士・弁理士 山口 健司 先生
(青和特許法律事務所)

内容：第1回 ①特定侵害訴訟代理業務試験
のポイント(知財侵害訴訟
の要件事実について)

②平成17年度第一問解説

第2回 平成18年度第一問、第二問解説

第3回 平成19年度第一問、第二問解説

第4回 平成20年度第一問、第二問解説

第5回 ①平成15年度第二問解説

②過去問の傾向と試験対策

受講者数：81名

② 模擬試験

日程：2009年9月15日、9月24日、10月8日

会場：弁理士会館3階

講師：弁護士・弁理士 弓削田 博 先生
(小林綜合法律特許事務所)

内容：第1回 特許法関連模擬試験1問

第2回 商標・不正競争防止法関連模
擬試験1問

第3回 小問、第1・2回の模擬試験
結果講評 等

受講者数：107名

以上



会報委員会報告

委員長 須藤 浩

平成21年度会報委員会につきまして、次の通りご報告致します。

1. 委員会の構成

委員長	須藤 浩	(南甲)
委員	深川 英里	(春秋)
	中谷 陽子	(春秋)
	今井 順一	(春秋)
	中隈 誠一	(P A)
	上田 和弘	(P A)
	青島 恵美	(P A)
	高橋 大典	(南甲)
	北口 貴大	(南甲)
	石原 進介	(無名)
	井上 相一郎	(無名)
	窪田 稚行	(稲門)
	倉持 誠	(稲門)
担当副幹事	小西 恵	(稲門)

2. 活動内容

(1) 会報「日弁」の発行

発行部数：2510部

内訳 P A：800部

春秋：800部

南甲：420部

無名：290部

稲門：200部

発送：11月30日に各会派に発送

(2) ホームページ委員会への情報提供

12月9日にHP委員会委員長に送付

3. 会合、その他

(1) 会合

6月16日に、HP委員会と合同で開催。

8月27日に、幹事長、会報委員長、広報委員長、春秋会幹事長の4名と、新規依頼候補の印刷会社である東洋法規出版担当者として開催。

その他は、電子メールを用いて作業を進めた。

(2) その他

前年度まで依頼していた印刷会社が8月に倒産したため、新たに依頼する印刷会社を急遽探索し、日本弁理士協同組合特約店である東洋法規出版に依頼した。その結果、会誌発行コストを削減することができ、作業効率も向上した。

以上

規約委員会報告

委員長 小山 輝晃

平成21年度の規約委員会の構成及び審議内容等につき、次の通り報告致します。

1. 委員会の構成

委員長	小山 輝晃	(春秋)
副委員長	吉岡 宏嗣	(無名)
委員	五十嵐 貞喜	(春秋)
	林 篤史	(P A)
	丸山 幸雄	(南甲)
	村上 友一	(無名)
	飯塚 義仁	(稲門)

2. 審議事項

日弁規約の改正の必要が生じたときの改正案の作成。

3. 審議経過

規約改正の必要が生じなかったため審議するに及ばなかった。



ホームページ委員会報告

委員長 河野生吾



平成21年度総会 承認事項

平成21年度副幹事長
鷲健志

平成21年度のホームページ委員会の構成及び審議内容等について、次の通りご報告致します。

(1) 委員の構成

委員長	河野 生吾 (南甲)
副委員長	中野 寛也 (稲門)
委員	高城 貞晶 (春秋)
	山崎 貴明 (春秋)
	西岡 邦昭 (P A)
	保坂 丈世 (南甲)
	山田 勉 (無名)

(2) 会合及び審議内容

第1回

日時：平成21年6月16日(火)

18:30-20:30

場所：弁理士会館3-B会議室

議事：
・幹事長挨拶、出席者紹介
・諮問事項…日弁メールマガジンの立ち上げ

(3) 活動内容

- ・日弁メールマガジンのシステムの立ち上げ
- ・日弁メールマガジンのマニュアル作成
- ・日弁メールマガジンの発行
- ・日本弁理士クラブの幹事長挨拶の掲載
- ・日本弁理士クラブで主催する研究会等の案内掲載
- ・各会派で主催する研修会等の案内掲載
- ・日弁会報(第33号)の掲載
- ・その他、日弁HPのメンテナンス(随時)

以上

第1回定時総会(平成21年4月22日)

- (1) 平成21年度事業計画の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (2) 平成20年度決算報告の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (3) 平成21年度予算の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (4) 平成22年度日本弁理士会(関東支部を含む)役員推薦及び日本弁理士クラブ役員等選任に関する件について、賛成多数により承認された。

第2回定時総会(平成22年1月15日)

- (1) 平成22年度日本弁理士クラブ幹事長選任の件について、岡部譲会員を選任することにつき、賛成多数により承認された。
- (2) 平成22年度日本弁理士クラブ政策委員長選任の件について、樺澤聡会員を選任することにつき、賛成多数により承認された。
- (3) 平成22年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事及び会計監事選任の件について、平成21年度幹事会及び平成22年度幹事長に一任することにつき、賛成多数により承認された。
- (4) なお、報告事項として、平成21年度会務中間報告、平成21年度会計中間報告及び会計監査中間報告、平成21年度協議・選挙対策委員会会計中間報告、並びに、平成21年度研修委員会会計中間報告が行われた。

以上

平成21年度会合行事記録

平成21年度副幹事長 鷲 健 志

月	総会・例会・行事	幹事会	相談役会	委員会	その他
平成21年 2月		2/27 正副幹事長会			
3月		3/30 第1回			3/13 東海協議会現役員慰労新役員激励会 3/13 西日本弁理士クラブ現役員慰労新役員激励会
4月	4/22 第1回定時総会 4/28 第1回例会	4/22 第2回			
5月		5/28 第3回	5/27 第1回		
6月	6/13-14 旅行会 (熱海温泉「石亭」) 6/13 研修会 6/14 ゴルフ大会	6/23 第4回		6/9 第1回政策 6/9 第1回研修 6/16 第1回会報 6/16 第1回ホームページ 6/23 第1回協議	
7月		7/24 第5回		7/30 第2回協議	
8月		8/25 第6回		8/28 第3回協議	
9月		9/25 第7回		9/25 第4回協議	9/12-13 弁理士連合クラブ旅行会
10月		10/26 第8回		10/2 第1回選挙対策 10/7 第2回選挙対策 10/9 第3回選挙対策(拡大)	
11月	11/4 メルマガ第1号 発行	11/16 第9回	11/25 第2回		11/25 弁理士連合クラブ役員選挙当選 祝賀会
12月	12/11 メルマガ第2 号発行 12/14 役員選挙当選 祝賀会 12/16 ボーリング大 会	12/18 第10回		12/21 第2回政策(拡大)	
平成22年 1月	1/15 第2回定時総会 1/15 新年会 1/23 テニス大会 1/29 メルマガ第3号 発行	1/15 第11回			



平成21年度会計報告

平成21年度会計担当副幹事長
神 林 恵美子

平成22年度第1回日弁総会において、平成21年度会計報告が承認されましたので、以下にご報告申し上げます。

下記の収入・支出の差し引きは、 円となり、次年度活動準備金 円と合算すると、平成22年度への繰越金は、 円となりました。

平成21年度は、平成20年度に行われた会長選挙の影響のため、前年度会計からの繰越金が僅か 円という状況でした。しかしながら、平成21年度の日弁幹事会メンバー及び各委員会の努力のお陰で、平成20年度とほぼ同等の次年度繰越金を残すことが出来ました。平成22年度に予想される会長選挙においても、支障なく選挙運動を行えるものと期待しています。

(単位：円)

収入の部

前年度会計からの繰越金
各クラブ分担金
ゴルフ大会残金
研修委員会の残金
協議(選対)委員会の残金
利息

合 計

支出の部

例会・総会
幹事会
会報委員会
協議委員会
政策委員会
規約委員会
HP委員会
研修委員会
連絡協議会

相談役会・常任相談役会
旅行会
旅行会ゴルフ大会補助
新年会
ボウリング大会補助
テニス大会補助
庶務
慶弔費
渉外・交通
幹事長渉外費
予備費
次年度活動準備費

合 計



第32回 ボウリング大会報告

実行委員 小川 雅也

第32回日弁ボウリング大会は40名（女性3名）の参加者により平成21年12月16日（水）に田町ハイレーンにおいて開催されました。

上位6名のトータルで争う各派対抗の団体戦では、前年に引き続き春秋会がトータル2839ピンで、2位のP A会に160ピン差をつけ2連覇を達成しました。今年も春秋会とP A会の強さが際立った大会となりました。

一方、3ゲームのトータルピンで争う個人戦では、これもまた前年に続き林秀男会員（稲門）が557ピンの高スコアで2位の小島一真会員（春秋）に50ピンの差をつけて2連覇を達成しました。また、林会員は222ピンという高スコアでハイゲーム賞のトップを獲得しました。

そして3名参加のレディース戦では、玉利房枝会員（春秋）が403ピンで2位の大倉奈緒子会員（春秋）に40ピン差をつけて5連覇を達成しました。

また大波賞は松井伸一会員（P A）が71ピン差で、小波賞は川村武会員（南甲）が16ピン差でそれぞれ獲得されました。

○団体戦

優勝	春秋会	2839ピン
2位	P A会	2679ピン
3位	無名会	2644ピン
4位	稲門弁理士クラブ	2489ピン
5位	南甲弁理士クラブ	2467ピン

○個人戦（3ゲーム投球完了者：40名）

優勝	林 秀男（稲門）	557ピン
2位	小島 一真（春秋）	507ピン
3位	長濱 範明（春秋）	501ピン
4位	樋口 和博（春秋）	500ピン
5位	矢崎 和彦（無名）	491ピン
10位	小川 雅也（南甲）	457ピン
15位	水本 義光（春秋）	441ピン

20位	川村 武（南甲）	418ピン
25位	伊藤 高英（春秋）	411ピン
30位	窪田 雅之（稲門）	398ピン
32位（第32回大会）		
	榎本 英俊（稲門）	391ピン
35位	野中 一秀（無名）	360ピン
B B	青木 博通（南甲）	322ピン

○レディース戦（参加者：3名）

優勝	玉利 房枝（春秋）	403ピン
2位	大倉奈緒子（春秋）	363ピン

○ハイゲーム

1位	林 秀男（稲門）	222ピン
2位	鈴木 利之（P A）	195ピン
3位	松井 伸一（P A）	191ピン

○大波、小波賞

大波賞	松井 伸一（P A）	71ピン
小波賞	川村 武（南甲）	16ピン

以上





平成21年度 テニス大会報告

平成21年度テニス大会担当副幹事長
田村 爾

平成21年度も恒例の日本弁理士クラブ（日弁）テニス大会が、平成22年1月23日（土）に品川プリンスホテル高輪テニスセンターにて開催されました。

今年度の大会幹事チームは無名会です。無名会の土井健二先生をはじめ、春秋会の伏見俊介先生、P A会の平山洲光先生、稲門弁理士クラブの岩田啓先生、南甲弁理士クラブの瀧野文雄のご協力のお陰で、大会を無事に行うことができました。ご協力戴いた先生方に改めて感謝申し上げます。

大会の要領は、日弁の各会派1チームの合計5チームによる総当たり戦です。今回は、以下の23名の先生方が各チームの名誉を掛けて、熱戦を繰り広げました。大会前の関心は、近年連勝している春秋会をどのチームがストップさせるのか、また、不振が続くP A会の古豪復活はなるかでした。試合結果は、他チームを寄せ付けない圧倒的な強さで春秋会が連覇を飾りました。現時点における機動性・安定性などチームの総合力評価では多分断トツだと思います。今回の試合で大躍進を遂げたのが、稲門弁理士クラブです。ここ数年は、安定したメンバーを確保し、地道に力を蓄えてきたのが、本年度開花したようです。今回、4位タイとなったP A会、無名会もそうですが、春秋会を除き、その他の4チームの実力は伯仲状態にあり、対戦メンバーの組み合わせ如何によっては、大きく順位が変動する可能性があります。

次年度のテニス大会も1月に同じ会場で開催されることが既に決まっております。次年度こそは、どのチームが春秋会の連覇を阻止できるか、大いに盛り上がる大会を期待したいところです。

<参加者（敬称略）>

春秋会（6名）：

伏見俊介、沼形義彰、沼形泰枝、茂泉修司、川淵健一、伊藤健太郎

南甲弁理士クラブ（5名）：

古澤俊明、長谷部善太郎、田村爾、徳永正昭、瀧野文雄

稲門弁理士クラブ（4名）：

林秀男、窪田稚之、菊地保宏、岩田啓

P A会（4名）：

後藤政喜、川島利和、本田昭雄、平山洲光

無名会（4名）

竹本如洋、小川英宣、中里卓夫、土井健二

<試合結果>

順位	会派	勝ち点
第1位	春秋会	14.0点
第2位	稲門弁理士クラブ	9.0点
第3位	南甲弁理士クラブ	8.0点
第4位	P A会	4.5点
第4位	無名会	4.5点

